

第11回 川越市市民意識調査 報告書

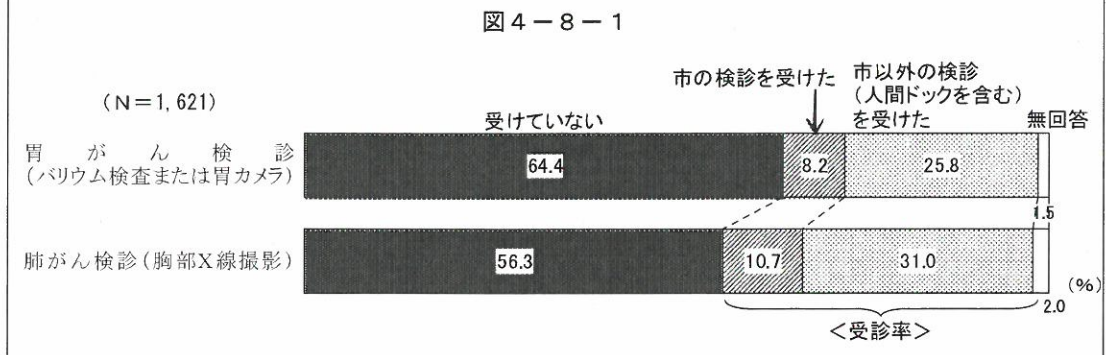
平成25年2月

川 越 市

4-8 がん検診の受診状況

◇40歳以上の<受診率>は、胃がん検診が40.7%、肺がん検診が46.5%

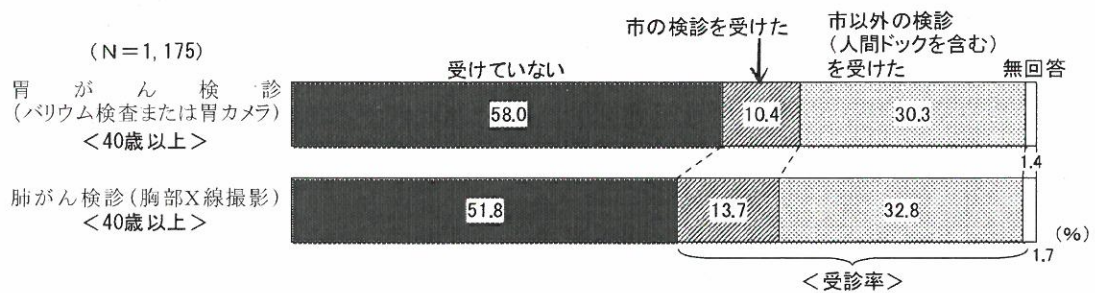
問24① がん検診の受診状況についてお尋ねします。平成23年4月1日～平成24年3月31日に次の検診を受けたことがありますか。(○は1つ)



がん検診の受診状況をたずねたところ、「市の検診を受けた」と「市以外の検診(人間ドックを含む)を受けた」の2つを合わせた<受診率>は、胃がん検診(バリウム検査または胃カメラ)が30%半ば、肺がん検診(胸部X線撮影)が40%を超えている。(図4-8-1)

市のがん検診の対象年齢である40歳以上(1,175人)の<受診率>は、胃がん検診(バリウム検査または胃カメラ)が40%を超え、肺がん検診(胸部X線撮影)が40%半ばとなっている。(図4-8-2)

図4-8-2 40歳以上の方のがん検診の受診状況



胃がん検診（バリウム検査または胃カメラ）について性・年齢別にみると、「市の検診を受けた」と「市以外の検診（人間ドックを含む）を受けた」の2つを合わせた受診率は、男性では、50歳代が60%近くで最も多く、40歳代、60歳代、70歳以上でも50%前後となっている。女性では、70歳以上が30%半ばで最も多く、40歳代、50歳代、60歳代でも30%前後となっている。（図4-8-3）

図4-8-3 性・年齢別 胃がん検診（バリウム検査または胃カメラ）の受診状況

